

韓国における経済・産業事情と その情報の入手

日本貿易振興機構 アジア経済研究所
地域研究センター 専任調査役

奥田 聡

2008年11月21日 13:00-15:00

*12月16日修正

資料の構成

- 韓国の経済・産業事情 歩み、問題点、日韓交流
- 情報の入手と問題点
- 経済・産業事情に関する情報
 - マクロ経済情報
 - オンライン情報 韓国銀行、韓国貿易協会、KOSIS(統計庁)
 - 冊子体情報
 - ミクロ経済情報
 - オンライン情報 朝鮮日報、韓国貿易協会、韓国輸出入銀行
 - 冊子体情報

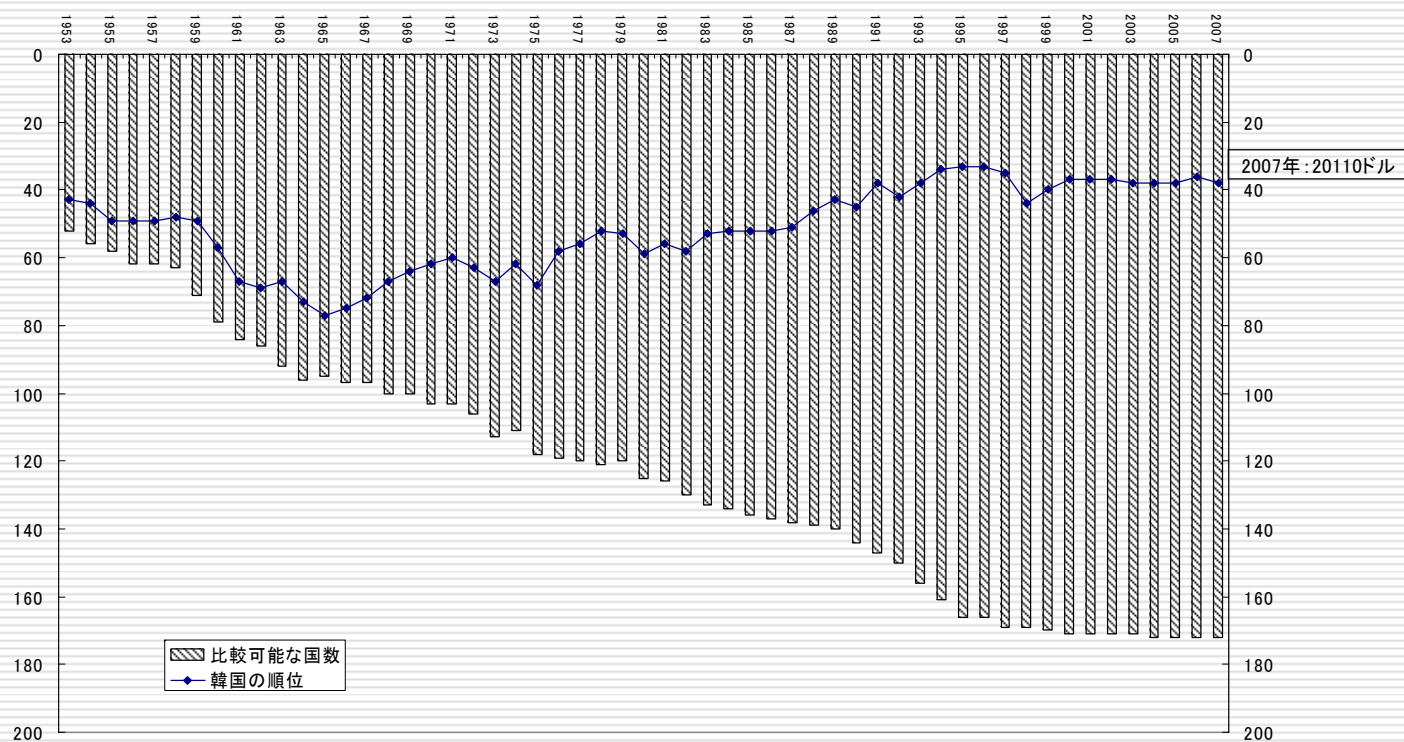
韓国の経済・産業事情

輸出立国としての経済の歩み

- 解放(1945年)後の混乱、朝鮮戦争(1950-53年)などで、1950年代の韓国経済は後発途上国の水準。
- 1961年に政権の座に就いた朴正熙は、インフラ建設と軽工業輸出を軸とする経済計画を断行。73年からは重化学工業化路線を歩む。
- 1970年代末には新興工業国(NIEs)として注目を浴びるに至る。
- 1980、90年代を通じて輸出を軸とした経済成長を続け、国民生活も次第に豊かになる。1990年代半ばには半導体・自動車・造船などの主要輸出国として浮上。1996年にはOECDに加盟。
- 1997・98年のアジア通貨危機では韓国も大きな影響を受ける。IMFからの緊急融資で急場を救われるが、1998年の韓国経済は未曾有の収縮に見舞われる。
- その後、韓国経済は急速に回復し、いわゆるV字回復を成し遂げる。国際的には「IMFの寵児」と喧伝される。
- 危機後、三星(サムスン)電子、LG電子、現代自動車、ポスコなど国際的に有名な企業を輩出。
- 経済の成熟化が進む中で韓国経済は巡航速度を模索しながら、輸出を梃子におおむね順調な成長を続けている。危機後の成長率は年5%内外と、一人当たり所得1-2万ドルの国としてはまずまず。貿易投資両面での中国経済との関係が深化。
- ただし、サブプライム問題の影響を受ける現下の状況はその推移に注意を要する。世界経済の減速を受け、韓国の成長率の低下は避けられない情勢。

韓国経済の歩み：極貧国から先進国へ

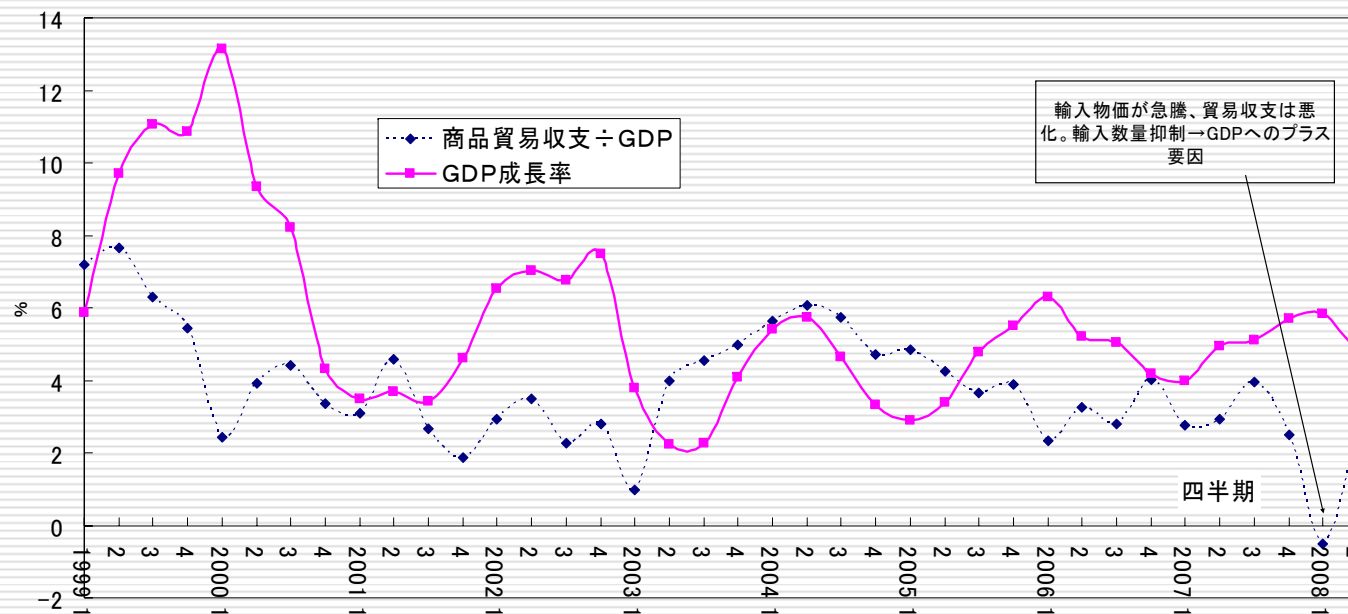
世界の中での韓国の地位
一人当たりGDPの世界ランキング



出所：筆者作成。データ出所は、IMF, International Financial Statistics (<http://www.imfstatistics.org/imf/>, 2008年10月19日アクセス)

韓国経済の歩み：危機後の韓国経済

GDP成長率と商品貿易収支



注：GDP成長率は実質ベースの前年同期比伸び率。商品収支÷GDPは名目ベースの国民所得勘定上での商品輸出入の差を名目GDPで除したもの。

データ出所：韓国銀行経済統計システム (<http://ecos.bok.or.kr/>, 2008年10月16日アクセス)

1999-2000年のV字回復後成長率は緩やかに漸減の傾向。貿易黒字が経済底割れを防ぐ。サブプライム問題、資源価格高騰による影響が懸念される。

韓国の産業

「世界の工場」の一角を担う韓国

項目	単位	韓国		米国		日本		中国	
			順位		順位		順位		順位
船舶建造量(2005)	千CGT	10,093	1	394	9	8,511	2	4,237	3
粗鋼生産量(2006)	百万MT	48.5	5	98.6	3	116.2	2	422.7	1
化繊生産量(2005)	千トン	1,708	5	2,674	3	1,022	8	15,342	1
半導体売上額(2006)	10億ドル	三星電子 20.1	-	インテル 30.4	-	-	-	-	-
DRAM売上額(2006)	100万ドル	三星電子 9,834	-	マイクロン 3,697	-	エルピーダ 3,489	-	-	-
自動車生産(2006)	千台	3,840	5	11,260	2	11,484	1	7,298	3
産業ロボット保有(2005)	台	61,576	4	139,553	2	373,481	1	11,557	10
タイヤ生産(2005)	千本	81,497	4	223,053	1	176,204	2	154,500	3

出所: 韓国貿易協会国際貿易研究院「208個の経済・貿易・社会指標で見た大韓民国2007」2008年10月。(ハングル)

- ・日本がバブル崩壊後の経済沈滞にあえぐ中、かつての日本の得意産業を次々と席捲。
- ・船舶、DRAM生産では韓国は世界第1位。
- ・化繊生産でも日本を抑える。

韓国経済の抱える問題点(1)

□ 国際化の副作用

- 輸出が景気の底割れを防ぎ、企業は海外投資に活路を見出したのは事実。特に、対中輸出、対中投資は重要な役割を果たす。
- しかし、輸出への依存によって海外の不況が韓国内に増幅されて現れる傾向が出ている。
- 対外投資は国内投資の減少を招き、空洞化をもたらす。
- 資源価格高騰やサブプライム不況などの影響が以前よりも強く現れることが懸念される。

韓国経済の抱える問題(2)

□ 次期成長動力の不在

- 韓国は1997・98年危機後、造船、半導体、携帯電話、鉄鋼、自動車などでの成功を収める。
- いずれも日本のかつての得意産業
- 日本が市場拡大・維持を怠った間隙を縫って世界的プレーヤーに。
- 日本モデルを追う展開から抜け出せない。韓国が手がけた産業の多くは大量生産化のためにコモディティ化し、大量生産→単価下落→大量生産・・・の悪循環に陥りがち
- 自力での技術的ブレークスルー突破の力量を培養する時間的な余裕なし。技術、機械、素材の多くを買い入れる「組み立て型」から抜け出せない。対日赤字は膨らむ一方。
- 大量購買者としての地位とグローバル調達のノウハウを活用して調達コストを抑え、利益を確保。

韓国経済の抱える問題(3)

□ 経済成熟化と関連する問題

- 今後急速に進む高齢化、年金制度崩壊の懸念：生産、消費両面でのマイナス材料。
- 世界的な少子化社会：世界最低の出生率、教育熱の過熱と不動産価格高騰（ソウル漢江南岸）。生産。消費両面でのマイナス材料。
- 階層間格差の拡大、非正規労働者の増加：消費へのマイナス材料
- 韓国の十八番を奪う中国の追撃、日本攻略の遅れ：「サンドイッチ・コリア」の悩み

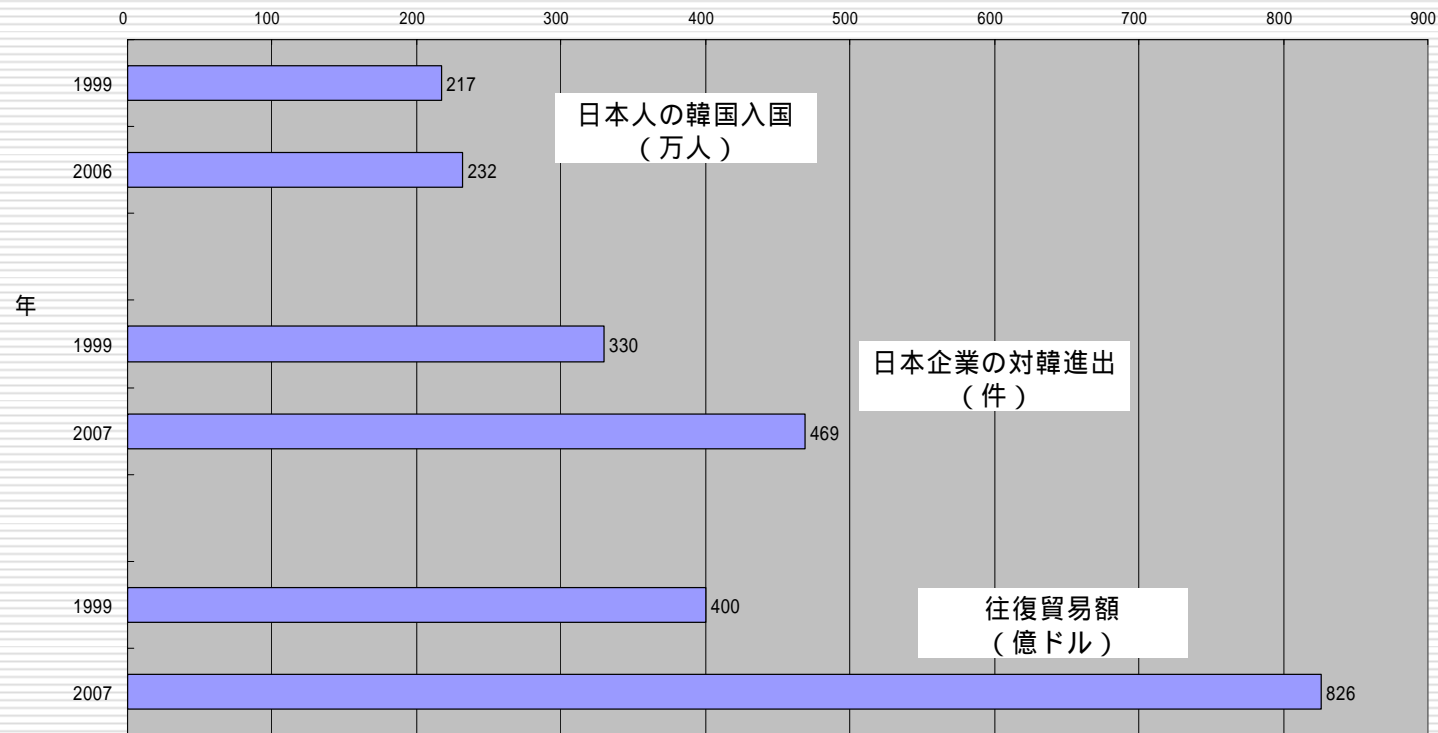
着実に広がる日韓交流

- 日本人入国者数は200万人以上を維持
 - 日本人の所得伸び悩みと近場志向
 - 危機後における韓国での支出の割安感
 - 韓流ブーム、2002年のワールドカップ共催
 - 韓国食、韓国式美容への関心の広がり
- 日系企業進出も続く
 - 賃金水準が他のアジア諸国よりも高く、投資に不向きと見られがち
 - しかし、三星電子など有名企業との取引のための進出が危機後相次ぐ
 - LCDパネルでのS-LCD社(ソニー・サムスンの合併)
 - 現地従業員の経営管理能力には定評。52%の会社で現地人がトップに就任。(中国5%、台湾14%、ジェトロ調べ)
- 目覚ましい貿易の拡大
 - 韓国の輸出への傾斜とともに、日本からの機械、原材料などの供給が拡大
 - ただし、収支は韓国側の大幅な入超。両国間紛争の火種に。
 - 韓国の機械等の対日輸出も徐々に拡大

日韓交流のようす

訪韓者数、企業進出、二国間貿易

日韓間の交流拡大のようす



情報の入手と問題点

オンライン発信の選好

- オンラインによるデータ発信の意欲は強い
 - 新聞の過去の記事は豊富。記事検索も提供。
 - 政府、金融機関、研究機関による統計、研究成果の無料提供。
 - 政府機関による統計公表の特徴：包括性、網羅性を重視。縦割りの発想を極力排除する。
 - ただし、情報過多の嫌いあり。受け手としては取捨選択が重要。
 - オンライン発信への傾注が強く、冊子体による発信は弱まる方向へ。
-

情報の入手と問題点

日本からの韓国サイトへのアクセスに当たって(1)

□ オンライン利用者サービスの傾向

- サイト荒らしや誹謗中傷が横行。ネット上の中傷に起因する有名人の自殺が相次ぐ。利用者登録を求めるサイトが増える。
- 利用者登録に当たっての韓国的特徴：住民登録番号による厳格な本人確認。住民登録番号の所持者＝韓国人
- 在外の外国人はもちろん、外国人登録済みの在留外国人も利用登録から排除されることが多い。
- 日本からの登録の場合、初めから拒絶される場合あり。また、可能であっても個別折衝が必要となることがある。その場合、旅券のコピーをファックスすることなどを求められる。

□ 回線

- やはり外国のサイト。日韓間のBand Widthの制約からは逃られない。高速インターネット網が完備された韓国での閲覧を前提としているサイトが多い。日本でのアクセスでは反応速度がどうしても遅くなる。

情報の入手と問題点

日本からの韓国サイトへのアクセスに当たって(2)

□ ウェブページ設計

- ActiveXを多用し、サイトに動きを持たせることを好む。しかし、情報だけがほしい利用者の立場からはこの種の飾りは無用。むしろ、サイトが重くなり、時間の浪費感が強まる。
- ポップアップの多用。これもActiveX多用と同根。お知らせの類をポップアップで見せようとする傾向がある。
- **しばしば統計閲覧などのための専用プログラムのインストールが必要となる。OSの管理者権限が強い環境下では、管理者による当該プログラムのインストールまで一般利用者は閲覧ができないことになる。**
- ハングル環境専用サイトの存在。ActiveXなどプラグインの内部にハングルが含まれることがしばしばある。これはハングル環境でしか正常に作動せず、英語・日本語などの環境下では文字化け、コンテンツの不表示、はなはだしくはフリーズを招来する。例：現代経済研究院、知識経済部
- ハングル名のファイルをアップする。ウェブページの閲覧が可能であっても、英語・日本語環境下ではアップされたファイルがハングル名で命名されているとダウンロードできないことがある。例：出入国管理統計年報
- アレアハングル・ファイルの使用。この韓国語ワープロソフトの最新版は日本では入手不可。ビューワーもあるが、インストールに管理者権限が必要で煩雑であるし、作動しないことがある。また、バージョンアップ時に互換性を欠くことがある。

情報の入手と問題点

韓国関連の冊子体の入手

□ 冊子体の入手

- 韓国で出版された書籍などを扱う、いくつかの専門書店はある。
- しかし、需要の少なさから価格は割高。
- 安価な定期刊行物や研究報告の類はオンライン化されることが多く、冊子体は単行本や年鑑類など高額なものに限定される傾向が年々強まっている。
- 経済情報と関連する書籍、とくに年鑑類や市場調査書は万単位の値段が付く。一般の読者には手が出ない値段。これは日本で発刊される韓国関連書籍でも同様。
- 文字のみ、表のみなど読みにくさが目立つ場合も多い。
- ただし、新聞については日本での印刷、配達が行われており、他の国で発行されるものに比して入手が容易で、価格も低廉。

経済・産業事情に関する情報

-マクロ経済情報-オンライン情報 (1)

- 韓国銀行経済情報システム
 - <http://ecos.bok.or.kr/>
 - 非常に幅広い経済データを網羅
 - 金融、物価、国際収支、外貨準備、国民所得勘定、産業、雇用・賃金、景気指数、企業財務、産業連関表など
 - 操作性に富むメニュー、データ採取の容易さ
 - 階層化された検索メニュー。ピンポイント検索、複数項目検索に対応。
 - 検索結果はエクセルで取り出すことができる。また、結果画面のセルをCut&Pasteして手作業にてエクセルに移すことも可能。
 - 英語サイトあり。表題等も英文で表示。
 - ログイン不要、すべての情報は無料。
 - ただし、統計表示には専用プログラムのインストールが必要。
 - 自社生産データに対する報道資料も容易に入手可能。(ハングル版)

経済・産業事情に関する情報

-マクロ経済情報-オンライン情報 (2)

□ 韓国貿易協会(KITA)

□ <http://www.kita.org/>(英語)

□ <http://www.kita.net>(ハングル)

■ 貿易統計が充実

□ 貿易統計はHS、SITCで検索可。HSコードは5年ごとに改定される(最近は2007年)が、SITCによる検索で長期系列データを得ることもできる。

□ 詳細品目分類での検索が可能(HSは10桁、SITCは5桁)

□ 貿易統計検索画面では、当該品目の生産企業を表示させることができる。

■ ユーザー登録、利用のつどログインが必要(英語、無料)

経済・産業事情に関する情報

-マクロ経済情報-オンライン情報 (3)

□ KOSIS 国家統計ポータル(統計庁)

- <http://www.kosis.kr/>(ハングル)
- <http://www.kosis.kr/eng/index.html>(英語)

- きわめて広範囲の統計を総合的に網羅(右の表)
- ログイン不要。
 - ただし、統計表示には専用プログラムのインストールが必要。
- 網羅性の余り、部門によっては他のサイトの情報に比して詳細さを欠く場合がある。
- 結果の取捨選択、表示書式を柔軟にカスタマイズできる。
- ただし、再検索するとカスタマイズした書式は消去され、再度はじめてから指定する必要あり。
- 結果をファイル出力することができる

人口・世帯	雇用・労働・人口	物価・家計
保健・社会・福祉	環境	農林漁業
鉱工業・エネルギー	建設・住宅・土地	交通・情報通信
卸小売・サービス	景気・企業経営	国民所得勘定・地域勘定・国富
財政・金融	貿易・外国為替・国際収支	教育・文化・科学
司法・行政	地方自治体統計	南北経済社会
解放以前の統計		

経済・産業事情に関する情報

-マクロ経済情報-冊子体情報（1）

□ 企画財政部、「最近経済動向」(月刊、ハングル、無料ダウンロード可)

■ <http://www.mosf.go.kr/>

- 直近のマクロ経済動向について図表によるビジュアルな表現と簡潔な解説。
- 月次ベースの発刊で、変化の早い韓国経済の現状をフォロー。
- 幅広い分野をカバー。
 - 海外経済、消費、投資、輸出入、鉱工業生産、雇用、金融、国際収支、不動産。そして統計表も付随。

経済・産業事情に関する情報

-マクロ経済情報-冊子体情報 (2)

- 韓国貿易協会国際貿易研究院「208個経済・貿易・社会社会指標で見た大韓民国2007」、2008年10月16日
 - <http://iit.kita.net/>(ダウンロード可、ログイン要)
- さまざまな分野における韓国の位置を的確に表す208の指標を厳選。
 - 国土面積・人口、経済規模・成長、貿易・外国為替、主要輸出品目、外国人投資・対外投資、主要産業、農林漁業、物流、教育・研究開発、エネルギー、国際交流、情報通信、国際競争力・人間開発、ブランド・企業、物価・労働・賃金、国民生活、環境
- 韓国の生産額等、世界順位、世界シェア、主要国の実績を掲載。

経済・産業事情に関する情報

-マクロ経済情報-冊子体情報 (3)

- アジア産業研究所、「韓国経済・産業データハンドブック」(日本語)、55000円(06年版)、582ページ
 - 全国経済人連合会「韓国経済年鑑」をもとに翻訳。
 - 韓国語年鑑の翻訳もので、速報性に劣るが、産業別解説は詳細。付属のデータも充実。
 - 韓国経済の概観、部門別経済動向、産業活動、地方経済に分けて解説。
 - 解説項目の例:機械産業
 - 概況、金属工作・加工機械、農業用機械、建設機械、運搬・荷役機械、繊維機械
 - 機械産業部分の総ページ数は18ページ

経済・産業事情に関する情報

-ミクロ経済情報-オンライン情報 (1)

□ 朝鮮日報

- <http://www.chosunonline.com/>(日本語)
- <http://www.chosun.com/>(ハングル)
- 日本語による韓国情報発信量は他のメディアをしのぐ。一日の記事量60-80本。
- 過去の記事も豊富。2000年以降の記事を閲覧可能。
 - ただし、2008年11月下旬より無料公開は1週間に限定。
- 検索機能も充実。社会、国際、北朝鮮、政治、経済、スポーツ、文化、社説・コラム、フォトニュースの大分類、その下の小分類に分けて記事を提供。
- ログイン不要。
 - ただし、掲載後1週間以内の無料閲覧可能分のみ。
- ハングルページよりも情報量は少なめ。本国向けの詳細な記事は省かれる傾向。
- 検索機能もハングルページより限定的。日付限定機能は無効。
- アクセストップを表示させるスクリプトなどのため表示完了に時間がかかる。その間プリントができなくなる。
- 記事の傾向は一般には保守的と評される。利用に当たってはこの点に留意。

経済・産業事情に関する情報

-ミクロ経済情報-オンライン情報 (2)

□ 韓国貿易協会 輸出入企業リスト (tradeKorea)

- トップページ(<http://www.kita.org/>)より“Company Directory”をクリック、下記URLへ。
- http://www.tradekorea.com/eng/company/company_list.jsp
- 業種別(右表)の企業リストあり。詳細な生産品名での検索、企業名検索も可能。
- 46500社余りを収録。

工芸品、ギフト
ビジネスサービス
化学、プラスチック、原材料
衣類、織物、アクセサリ
コンピューター、電子
電機、照明
食料、飲料、農産物
機械
家庭・事務用機器
医薬品、健康、環境
金属、鉱物
その他
玩具、ゲーム、スポーツ
自動車、運輸

経済・産業事情に関する情報

-ミクロ経済情報-オンライン情報 (3)

□ 韓国輸出入銀行 海外投資統計

- <http://www.koreaexim.go.kr/kr/oeis/m03/s01.jsp>(ハングル)
- 韓国の1980年以後の海外投資の届出、実投資の件数、金額、そして企業名を閲覧可能。
- 年度別、月別、地域別、国別、業種別、製造業業種別、主投資者規模別、投資比率別、地方自治体別で検索。
- 中国は省別に見ることができる。
- ログイン不要。
- 結果閲覧用のハングル環境プラグインを使用。外国語環境下での閲覧にやや不安。

経済・産業事情に関する情報

-ミクロ経済情報-冊子体情報 (1)

- ビスタ ピー・エス、「韓国の産業と市場―産業概況および市場動向データブック」、51450円、939ページ。(年1回)
 - 解説文はなく、数表のみのデータ集。
 - 速報性に劣るが、産業別データ表示の詳細さは圧倒的。
 - 流通経路、品目別生産、ブランド別売り上げ、企業別売り上げなどのミクロ的データを表示。

「韓国 の 産業 と 市場」

産業別表示の例 化粧品

- 流通経路別シェア
 - 専門店、割引店、人的販売、デパート……
- 各種品目生産実績
 - 子供用化粧品、浴用製品、アイメイク製品、芳香用製品、頭髪用製品、染毛用製品、メイクアップ製品、髭剃り製品、マニキュア、基礎化粧品、機能性化粧品
- 輸出入
 - 上に同じ
- 百貨店売り上げトップ20ブランド
 - 雪花秀、ESTEE LAUDER, LANCOME, CHANEL, SK II, HERA, ……

経済・産業事情に関する情報

-ミクロ経済情報-冊子体情報 (2)

- 毎日経済新聞社、「会社年鑑」、全3巻、5100ページ、29万ウォン（年1回）
- 最新版は2009年版。6月出版。
- 対象は上場会社だけでなく、中堅会社、中小企業にまで。
 - 上巻：上場会社、中巻：中堅会社、下巻：中小企業
 - 上場会社、外部監査企業（中堅企業）は電子公示が行われるが、中小企業の財務データを別ルートで大量入手するのは困難。
- 収録社数は5万2千社。CDが添付されている。

毎日経済新聞社、「会社年鑑」 収録内容

□ 収録内容

- 概況情報：会社名、英文商号、設立日、代表者、従業員数、主要事業内容、大株主現況、関係会社、主取引銀行・支店、ホームページ、法人登録番号、主要生産品、輸出品、輸入品など
- 事業場現況：住所、ファックス・電話番号、eメール
- 財務諸表：貸借対照表、損益計算書、マネーフロー表、利益剰余金処分計算書など



ご清聴ありがとうございました